

# 産婦人科の実際

特集企画には特に力を入れており、毎号読み応えのある内容に編集しています。「診療」「臨床経験」「症例」には日常診療に役立つ記事を揃えています。

- 発行部数 7,300部
- 月刊 毎月中旬発行
- 創刊 1952年(昭和27年)
- B5判 平均150頁

- すべての産婦人科臨床医が知りたい最新の情報を幅広く掲載
- 明日からの診療にすぐに役立つ知識が満載!
- 周産期、婦人科腫瘍、生殖・内分泌、女性ヘルスケアの4つの柱を中心に臨床医に必要な知識や技術を、わかりやすく丁寧に解説
- 毎号の充実した特集は、産婦人科医療でいま何が必要なのかという視点で、学会の動向などを加味しながら企画

## 投稿論文を掲載している専門誌です。

症例報告(臨床報告)、原著論文、総説論文など読者からの投稿論文を掲載している専門誌です。

## 投稿論文は編集委員が査読致します。

投稿論文は迅速な審査を経て採否と最終的な掲載欄を決定致します。

**編集委員** 桑原 慶充(日本医科大学准教授) / 松村 謙臣(近畿大学教授)  
岡本 愛光(東京慈恵会医科大学教授) / 末岡 浩(慶應義塾大学准教授) / 堤 治(山王病院院長)

●定価(2020年) ●通常号…定価(本体2,800円+税) ●臨時増刊号…定価(本体8,500円+税)  
Vol.69

## 広告掲載料金(2020年1月現在) 消費税は別途加算されます。

- 広告サイズ: B5判(天地220mm×左右150mm)
- 広告原稿: データ希望
- 広告申込締切日: 前月10日
- 広告原稿締切日: 前月15日
- 綴込納品締切日: 前月20日

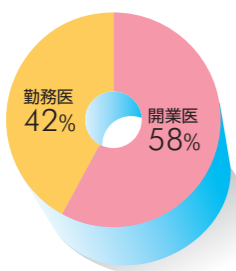
スペース	表紙2	表紙3	表紙4	前付	記事中	綴込
1頁	76,000円	60,000円	90,000円	58,000円	50,000円	101,000円
1/2頁	-	-	-	-	28,000円	-
カラー	250,000円	200,000円	300,000円	180,000円	150,000円	-

その他の特殊スペースについてはお問い合わせ下さい。

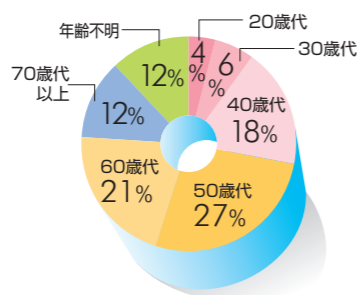
### 読者対象

臨床に役立つ産婦人科医の専門誌。購読者の約6割が開業医であり、50歳代が全体の約3割をしめ、40歳代と60歳代が各々約2割をしめている。

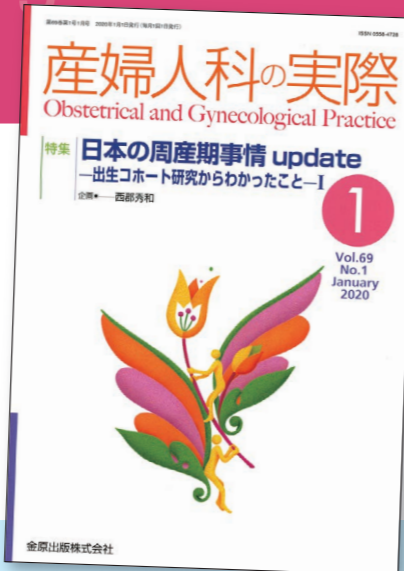
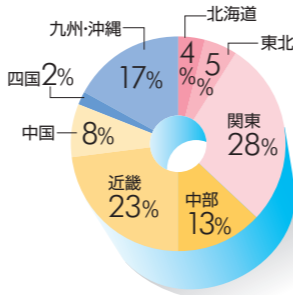
DATA 1 購読対象分布



DATA 2 購読年齢別分布



DATA 3 購読地域別分布



## [2020年1月号]のおもな掲載内容

### 特集 日本の周産期事情update —出生コホート研究からわかったこと— I

企画者のことば: 日本の出生コホート研究

#### ■各論

1. 先天奇形
2. 妊娠と栄養
3. 妊婦の医薬品・サプリメント使用と子どもの発達
4. 妊娠と重金属
5. 妊娠と感染
6. 母体年齢と早産
7. 妊娠と歯周病
8. 妊娠高血圧症候群

#### 診療

再発婦人科がんに対する手術療法の検討  
産科クリニックにおける帝王切開術でのEnhanced Recovery After Surgery(ERAS)導入効果

#### 臨床経験

シミュレーション教育は僻地での母体救命率向上に寄与する—救命できた心停止2例の経験から—  
エジンバラ産後うつ病スクリーニング健陽性者の管理率と管理法統一の必要性

#### 連載

悩ましい症例に立ち向かう! CPIレポート  
乳癌合併妊娠の産褥早期にみつかった腹膜高分化型乳頭状中皮腫

#### 症例

卵巣成熟嚢胞奇形腫の嚢腫摘出に組織回収コンテナシステムが有用であった1例  
妊娠35週にギランバレー症候群を発症し、免疫グロブリン大量療法中に呼吸停止をきたし、超緊急帝王切開術を行った1例  
周産期に診断した妊娠・授乳関連骨鬆症の2例

#### 海外文献から

- 胎児発育不全の予防・治療におけるアスピリン、ヘパリンおよびその他介入の役割
- 予防的抗菌薬は経産器械分娩後の感染を防ぐか

## 特集テーマのご紹介【産婦人科の実際】

2019年 Vol.68

定価(本体2,800円+税)

- 【1月号】産婦人科医に役立つ資格
- 【2月号】産婦人科医が身につけておくべき遺伝カウンセリング
- 【3月号】卵巣がん征圧へのマイルストーン
- 【4月号】ご存じですか? 産婦人科領域で話題の薬物療法
- 【5月号】女性医学 Update
- 【6月号】安全で安心な無痛分娩を極める
- 【6月臨時増刊号】 産婦人科診療 decision makingのためのMRI・CT



- 【7月号】異所性妊娠を考える
- 【8月号】外陰疾患を極める
- 【9月号】“いつかはママに…”を応援するプレコンセプションケア
- 【10月号】迫り来る2020 新規保険収載へのロードマップと適正運用
- 【11月号】妊産婦死亡をどう防ぐか I
- 【12月号】妊産婦死亡をどう防ぐか II

2020年 Vol.69

定価(本体2,800円+税)

- 【1月号】日本の周産期事情 update —出生コホート研究からわかったこと— I
- 【2月号】日本の周産期事情 update —出生コホート研究からわかったこと— II
- 【3月号】子宮頸がん予防 —日本はどうする?—
- 【4月号】エキスパートから学ぶ婦人科ロボット手術update
- 【5月号】専門医はもういない? せまりくるAI時代
- 【6月号】経産分娩 vs 帝王切開 —分娩様式の見直しと対応—
- 【7月号】産婦人科医が知っておくべき がん遺伝子パネル検査の基礎知識

#### 【8月臨時増刊号】

定価(本体8,500円+税)

発生から紐解く 胎児超音波診断アトラス

(2020年の特集内容は変更になる場合がございます)

